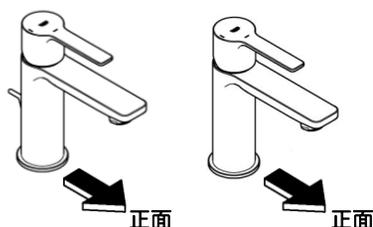


リネア シングルレバー洗面混合栓据付説明書 (お客様にお渡してください)

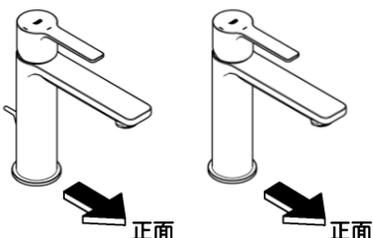
- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この据付説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。
- 同梱部材の数量、キズ等の確認をしてください。

各部名称

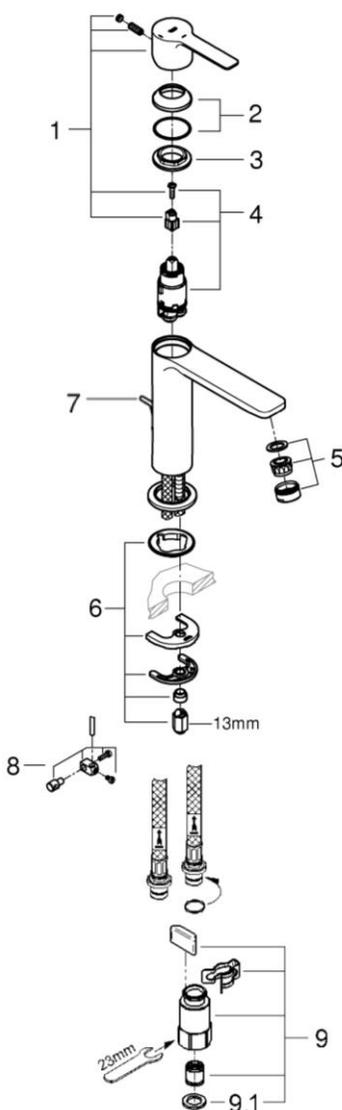
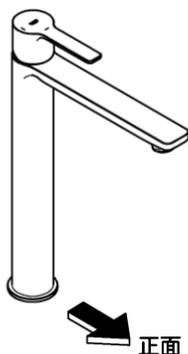
Sサイズ



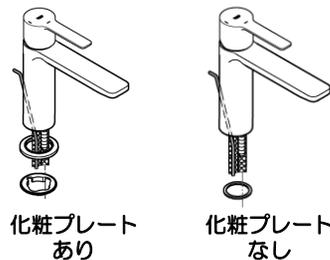
Mサイズ



XLサイズ



本製品は、化粧プレートを取付けるかどうか選択することが出来ます。また、化粧プレートを取付けるかどうかで使用するパッキンが異なりますのでご注意ください。



図番	名称
1	開閉レバー
2	化粧カバー
3	止ナット
4	セラミックカートリッジ
5	エアレーター
6	締付セット
7	引き棒
8	ジョイントピース
9	クイックソケット
9.1	1/2パッキン

- ※ 必ず施工前に欠品やキズの有無をご確認ください。
- ※ 欠品やキズがあった場合は遅滞なく購入先へ連絡をお願いします。
- ※ 水道工事を実施しない場合は、水道工事ご担当者さまへ引き継ぎをお願いいたします。

安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、開閉レバー・ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

一度、水を含んだパッキンは水漏れの原因になります。再度使用しないで新品をご用意ください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

使用条件

●給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器(ボイラー、電気温水器)と組み合わせる場合

最低必要圧力0.1MPa[1kgf/cm²](流動圧)～最高圧力0.74MPa[7.5kgf/cm²](静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

◇給水圧力が0.74MPa[7.5kgf/cm²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

●水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

●水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

据付前の注意

●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

●給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

●必ず配管中の異物(ゴミ、砂等)を完全に洗い流してください。

●寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

●配管接続部を隠ぺいしないでください。

●給水・給湯ホース緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

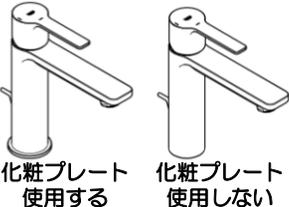
●クイックソケットの接続ねじは平行ねじG1/2です。テーパねじ(TP1/2,R1/2)には使用しないでください。

また止水には付属のパッキンを必ず使用してください。

据付手順

1. 本体の準備

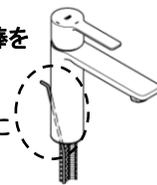
注意



化粧プレート 使用する 化粧プレート 使用しない

本製品は、化粧プレートの使用を選択いただけます。事前に十分ご検討いただき、各施工方法にそって正しく取付けてください。

注意



引き棒タイプは、本体据付前に引き棒を本体に取付けます。

引き棒は設置前に取付けます

注意

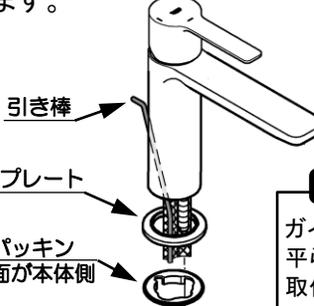


設置前にカウンター上部の汚れを拭き取ってください。

化粧プレートを使用する場合

【化粧プレートとガイドパッキンの取付け】

水栓本体に化粧プレートとガイドパッキンを取付けます。



引き棒

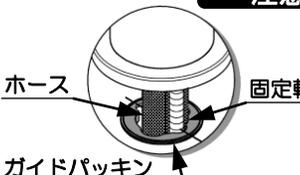
化粧プレート

ガイドパッキン
平らな面が本体側

ポイント

ガイドパッキンは、平らな面を本体側に取付けます

注意



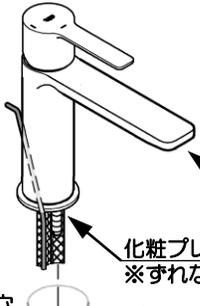
ホース 固定軸

ガイドパッキン

ガイドパッキンの溝が引き棒・給水給湯ホース・固定軸に合うように取付けます。

【取付穴への設置】

本体をカウンター上部の取付穴から挿入します。



吐水口

※正面を向くように取付け

化粧プレート・ガイドパッキン

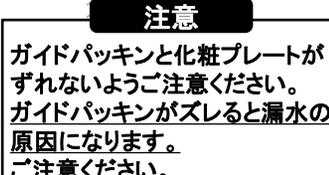
※ずれないように注意

取付穴

注意

本体の吐水口が正面に向くように取付けます。

注意



ガイドパッキンと化粧プレートがずれないようにご注意ください。ガイドパッキンがズれると漏水の原因になります。ご注意ください。

注意

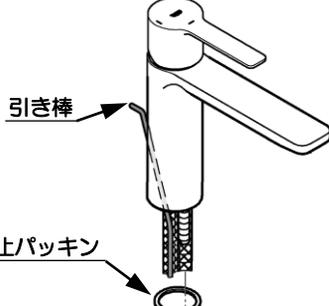
化粧プレートに付属のパッキンは使用しません。廃棄してください。

パッキン

化粧プレートを使用しない場合

【水漏れ防止パッキンの取付け】

水栓本体に水漏れ防止パッキンを取付けます。



引き棒

水漏れ防止パッキン

注意



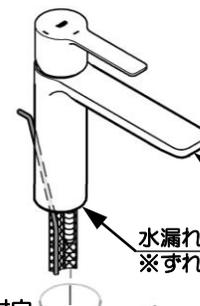
本体 ※裏面に溝があります

水漏れ防止パッキン

本体裏面の溝に、水漏れ防止パッキンを合わせます。

【取付穴への設置】

本体をカウンター上部の取付穴から挿入します。



吐水口

※正面を向くように取付け

水漏れ防止パッキン

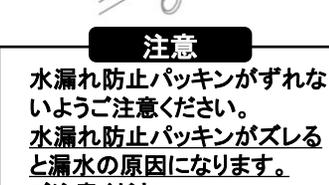
※ずれないように注意

取付穴

注意

本体の吐水口が正面に向くように取付けます。

注意



水漏れ防止パッキンがずれないようにご注意ください。水漏れ防止パッキンがズれると漏水の原因になります。ご注意ください。

注意

ガイドパッキンは使用しません。廃棄してください。

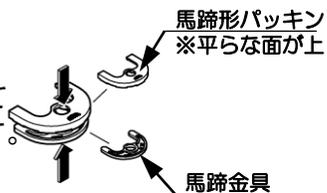
ガイドパッキン

据付手順(洗面水栓)

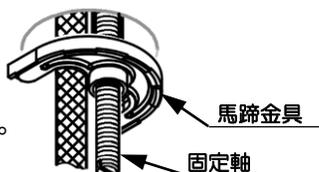
2. 本体の固定

馬蹄金具の取付け

①馬蹄金具に馬蹄形パッキンがしっかりはめこまれていることを確認します。



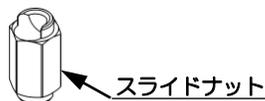
②馬蹄金具をカウンター下から固定軸に取付けます。



注意

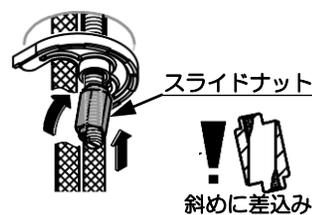
必ず馬蹄形パッキンがカウンター側、馬蹄金具が下側になるよう取付けてください。

スライドナットの固定



スライドナットは、以下の手順で固定してください。

①スライドナットを斜めに傾けながら固定軸に差し込みます

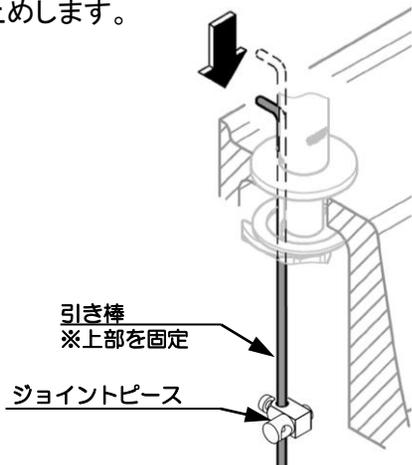


②スライドナットを固定軸に合うよう真っ直ぐ起こし右回しにねじ込みます。

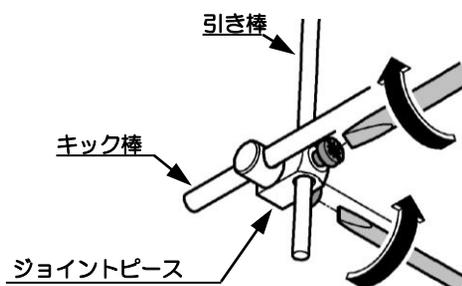


3. 引き棒の取付け

1. ジョイントピースを排水金具のキック棒に合わせ仮止めします。

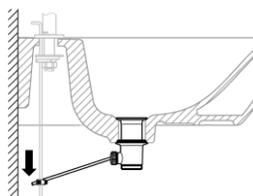


2. 排水金具のキック棒にジョイントピースを差し込み固定ビスで締付けます。



注意

- ・接続ホース、締付セット、壁面に引き棒およびキック棒が接触しないことを確認して下さい。
- ※家財などを濡らす財産損害発生 の恐れがあります。
- ・引き棒およびキックレバーは曲げずに接続するようにしてください。
- ※引き棒を曲げて接続すると、操作が重くなります。
- ・固定ビスはゆるまないよう、確実に固定してください。

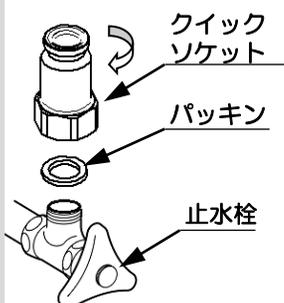


引き棒やキック棒が壁面に当たらないよう注意してください

据付手順

4. クイックソケットの接続

1. 逆止弁アダプターを止水栓に固定します。



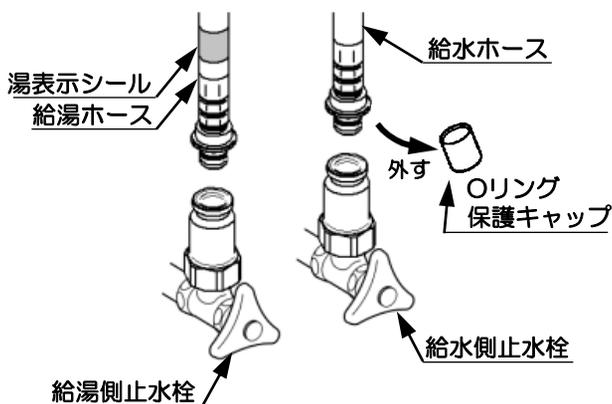
注意

寒冷地用は部品が異なります。

注意

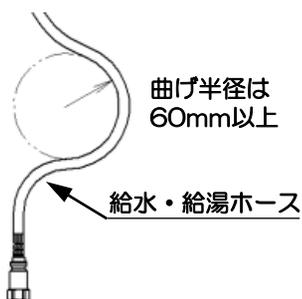
締付は200～300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

2. 給水・給湯ホースを接続アダプターに差し込みます。



注意

給水・給湯ホースを曲げる場合は、曲げ半径60mm以上確保してください。※漏水の原因となります。

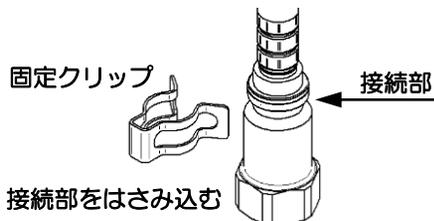


注意

- ・給水・給湯管同士が接触しないよう、注意してください。
- ・給湯配管には給湯ホースのみ接続してください。
- ・給水・給湯管がねじれないよう注意してください。

※漏水の原因になります。

3. 固定クリップを給水／給湯ホースとクイックソケットの接続部にはめ込みます。



接続部をはさみ込む

注意

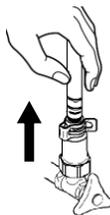


固定クリップでケガをしないようご注意ください。

注意

給水・給湯ホースの不要な接触は避けてください。※摩擦によりホースが劣化する恐れがあります。

注意

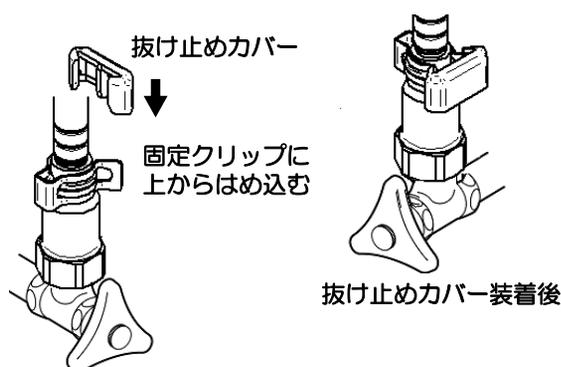


確実に接続されていることを確認してください。給水・給湯ホースを上へ引き、ソケットから外れないことを確認してください。

注意

固定クリップはゆるまないよう、しっかりととはめ込んでください。※漏水の原因になります。

4. 抜け止めカバーを固定クリップにはめ込みます。



お願い

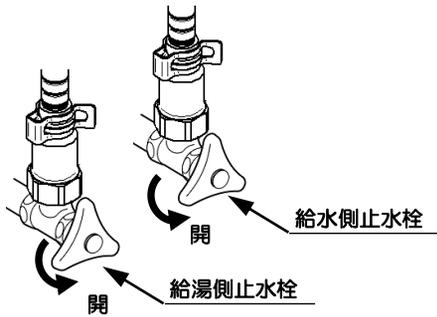
配管が設置されておらず、接続アダプターが接続できない場合は、水道工事ご担当者さまへ引き継いでいただき、配管への接続をお願いいたします。

取付後の確認

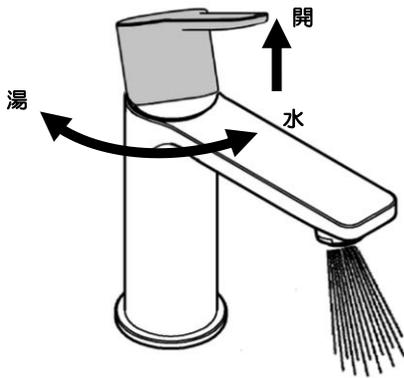
取付完了後、必ず下記の項目を確認して下さい。

1. 通水確認

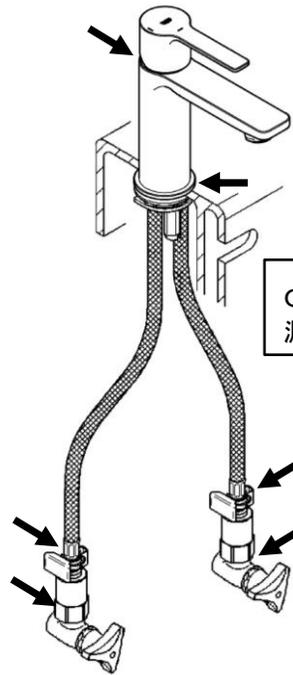
1. 水栓のレバーハンドルを閉じ、給水・給湯の止水栓を開きます。



2. 湯側・水側それぞれの位置でレバーハンドルをゆっくり開け、通水確認します。



3. レバーハンドルを閉じて、接続部からの漏水がないか確認します。



注意

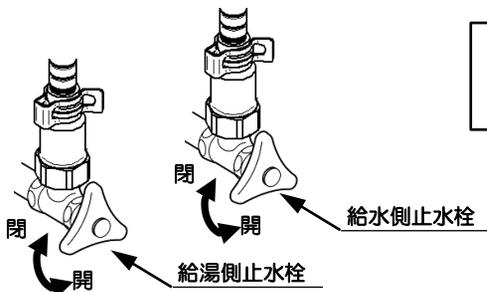
○リングの切れ等が漏水の原因となります。

注意

万が一漏水が確認された場合は、パッキンを新品に取り替え、再度規定のトルクで締付を行ってください。

2. 流量の確認

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節します。



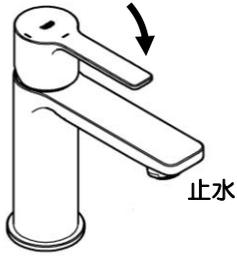
ポイント

- ・湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。
- ・吐水量を調整することで、水はねをおさえることができます。

取付後の確認

3. エアレーターの清掃

1. レバーハンドルを止水状態にします。



2. エアレーターの平行部分にスパナ等の工具を当て、反時計回りに回してエアレーターを外します。



ポイント

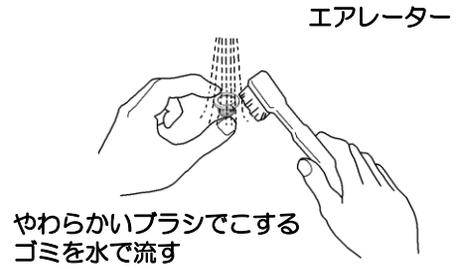
※製品を傷つけないよう、製品と工具の間に布を当てて作業してください。



エアレーター

側面に平らな面が2ヶ所あります

3. エアレーターに付着したゴミを取り除きます。



ポイント

設置直後にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。

4. エアレーターを取付けます。

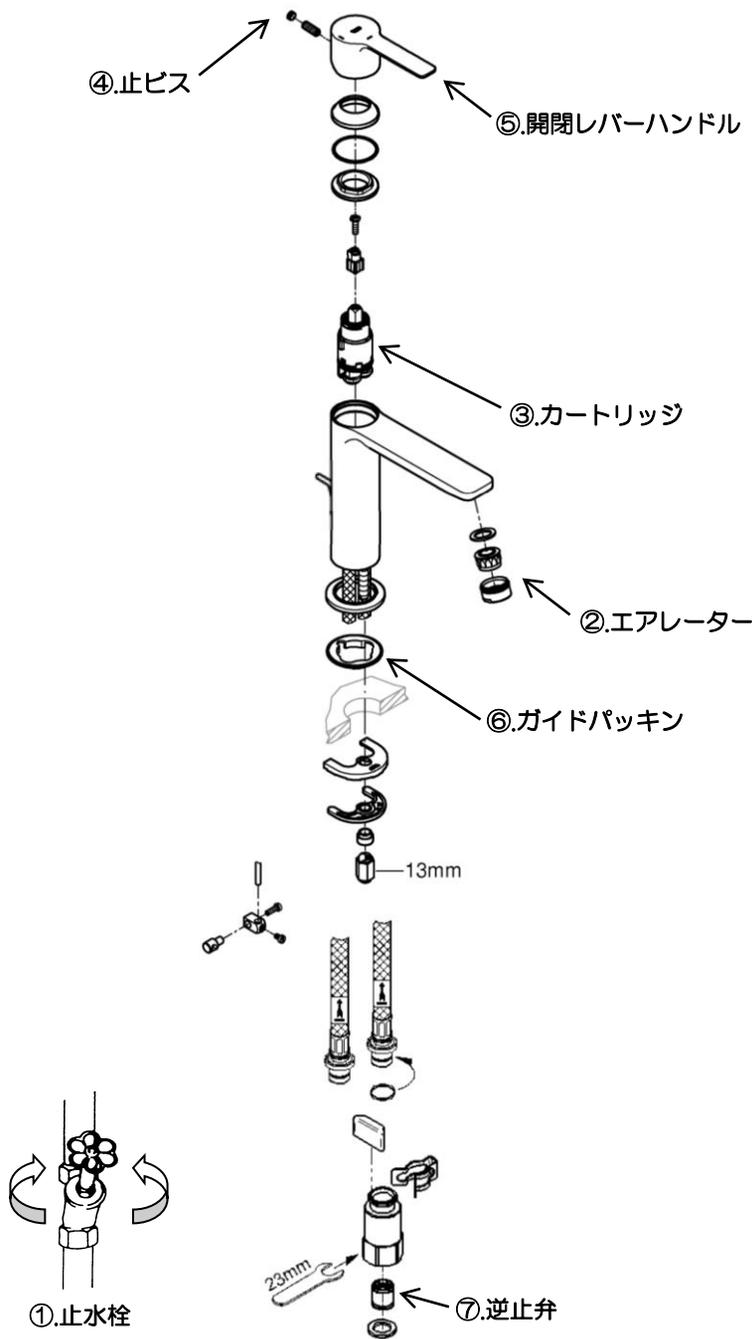
注意

清掃後は確実にエアレーターを取付けてください。



故障と点検

製品設置後に万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行って下さい。



現象	点検箇所	処置
吐水量が少ない	①	圧力は十分か？十分開いているか？
	②③⑦	破損・ゴミかみはないか？
水が止まらない	③	破損・ゴミかみはないか？
温度不良	①	圧力は十分か？十分開いているか？
	③⑦	破損・ゴミかみはないか？
レバーがガタつく	④⑤	正しく取り付けられているか？
カウンター内の漏水	⑥	正しく取り付けられているか？

グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>